

平成25年度
“札幌シーニックバイウェイ
藻岩山麓・定山溪ルート”
活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート		報告者:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫					2014/3/24		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
<p><テーマ> 「住んでよし訪れてよしの都市空間」 <活動方針> 地域から積極的に情報発信。日本全国。世界から訪れる全ての人々を温かくおもてなしする。</p>	紙媒体等による広報	1	・雪あかりイベントのPR(チラシ)	ルート運営代表者会議	冬期(12~2月)	-		毎年、各地域で雪あかりイベントを実施する。各地域の開催時期が異なるため、周知徹底が難しく、周遊いただくための工夫としてチラシ(同様のポスター)を作成し、区内各所および真駒内駅、地下歩行空間等で配布した。デザインはルートメンバーの札幌市立大学が担当。	
	ホームページ等による情報発信	2	指定ルート認定によるルートホームページの改修・更新	ルート運営代表者会議 札幌市南区役所	夏に公開 (順次ページ作成、公開)	-	S A 1	ホームページでの情報発信を充実させるため、これまでのルートのHPを改修を昨年度より行い、今年度に公開した。昨年度作成したルートのロゴマークをイメージしたカラー、見やすさを重視した画面となった。	
		3	ホームページでのイベント情報投稿フォームの開設	ルート運営代表者会議	通年(継続)	-		2年前から始めたブログは、各活動団体が有効的に活用しており、頻繁に更新されている。日々の各施設の情報がわかりやすいものとなっている。	
		4	ルートブログによる情報発信	ルート運営代表者会議	通年(継続)	-		「SAN」は、東海大学の学生が取材・作成する情報誌で、地域のコアな情報が満載であるが、不定期発行となっているが、本年度の春に発行された。	
		5	南札幌エリアフリーペーパー「SAN」による情報発信	東海大学	平成25年5月末発行	-			
	様々な手法によるルートの魅力PR (PRグッズ、PRマップ等の作成、各イベント等でのルートPRなど)	6	「札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2014」の作成・配布	ルート運営代表者会議	平成25年9月初旬~3月末頃まで	15,000部		2年前から引き続き、ルート内の魅力的な景観や集客施設を集めたカレンダーを作成した。企画・制作は、ルートメンバーによる「カレンダー作製委員会」を中心に行った。無料配布のため、今後については検討中。	
		7	ルート「ロゴマーク」の活用	ルート運営代表者会議 札幌市南区役所	通年	-	S A 2	昨年度、ルートのロゴマークができた。このロゴマークを活用し、様々なところでPRするため、ルートシールの作成、イベント等で活用できる法被、幟を作成し、シーニックのチカホイベントなどでも活用した。	
		8	地下歩行空間「シェルフ・バイウェイ」を活用したPR	札幌開発建設部、(+シーニック全道各ルート)	通年	-		札幌駅前通地下歩行空間にてほぼ年間を通じて札幌開発建設部が主催する展示企画に参加し、ルート活動のポスターの展示やチラシの配布などを行い、広くPRした。スタンプラリーや雪あかりの取組などルート全体のPRはもとより、各活動団体のポスターやちらしの配布、ルート特産物の展示を行いルートの魅力を紹介した。ルートのロゴマークができたことから、チラシやポスター等にこれらをいれて掲示した。徐々に参加希望のくる団体が増えている。	
		9	地下鉄真駒内駅へのシーニック情報専用掲示板を活用したPR	ルート運営代表者会議、 札幌市南区役所	通年	-		南区役所の協力による地下鉄真駒内駅のシーニック専用情報掲示板では、ルートで作成したパンフレットやポスターを掲示し、ここでも活動PRを行った。次年度以降も有効的に活用していきたい。	
	その他	10	地下鉄及びJR車内中吊り広告掲示	ルート運営代表者会議 札幌市南区役所 札幌市立大学	平成26年1月	-		ルートの認知度向上と雪あかりイベントのお知らせを目的として、1月中旬の約1週間、中吊り広告を展開。広告媒体の選定から企画・デザインまで札幌市立大学の学生を中心に行なった。	
		11	地域アンテナショップ「サロス」	藤野中央商工振興会他	平成25年2月(予定)	-		ルートメンバーの藤野商店街振興組合等による空き店舗を活用した事業として、南区を中心とした特産品の販売や地域の情報を発信する場のアンテナショップを夏頃から開設。Bywayや地域特産品(山ぶどうサイダーなど)も販売されている。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	2014/3/24
-------------------------------	--	-----------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
景観 <テーマ> 「札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる景観づくり」 <活動方針> ・眺望の優れた場所の整備と活用 ・広域的な花街道づくりとPR ・広域的な幻想空間の創出とPR	モニターツアーの実施(景観)	12	-	-	-	-		これまでの事業効果を検討した結果、一定の役割を終えたと判断されたため、2年前もって事業終了とした。	
	花いっぱい運動	13	各地区による沿道花壇の整備	連合町内会ほか、ルート参加団体	春～秋期間(5～10月頃)	-		毎年各地域(各団体)では、沿道花壇への花壇活動を継続的に行っている。区外から来られる方への「おもてなし」とともに、自分たちの地域をより美しくしたい気持ちから活動しているため、良好な沿道景観の形成はもとより、活動を通して地域内外の繋がり(連携)が広がっている。 苗ポット数の減少や人材・費用面の問題等もあるが、今後も継続的に実施をしていきたい。	
	各地域での「雪あかり」の取り組み、PR		14	『石山スノーファンタジー』(雪あかりイベント)	石山スノーファンタジー実行委員会(石山地区町内会連合会、まちづくり協議会)	平成25年12月9日～平成26年2月28日	-	S A 3	どの会場も、灯り作成のグレードがあがり、撃つくし光に包まれるヒトキ。灯りが人を繋ぎ、多くの人が各会場を訪れていたが、制作する側の苦労もたえず、かつ、ローソクなどの高騰により、数を減らすなどの工夫も行った。ひとつの会場から同じ時期に開催されているところを写真を撮り歩く人がみられるなどもあった。灯りを通して道だけでなく、人も繋がると感じられるため、次年度以降も積極的に続けていきたい。地下鉄中吊り広告の効果もあつたように感じる。
			15	『真駒内地区ふれあい雪あかり』(雪あかりイベント)	真駒内地区連合会	平成26年1月23日～25日	-		
			16	『藻岩地区アイスキャンドル』(雪あかりイベント)	藻岩地区町内会連合会	平成26年1月25日、26日	-		
			17	『南沢地区冬まつり』(雪あかりイベント)	南沢地区町内会連合会、まちづくり協議会	平成26年1月25日、26日	-		
			18	『スノーフェスティバルin澄川』(雪あかりイベント)	澄川地区連合会	平成26年2月8日、9日	-		
			19	『定山溪温泉雪灯路2014』(雪あかりイベント)	定山溪温泉雪灯路2013実行委員会((社)定山溪観光協会、定山溪地区連合町内会他)	平成26年2月5日～11日	-		
			20	『藻岩下やさしい雪あかり』(雪あかりイベント)	藻岩下地区やさしいまちづくり実行委員会(藻岩下地区連合会)	平成26年2月8日、9日	-		
			21	『芸術の森地区「雪あかりの祭典」』(雪あかりイベント)	雪あかりの祭典実行委員会(芸術の森地区連合会、札幌市立大学、保養センター駒岡、札幌芸術の森他)	平成26年1月25日、2月1日・2日、11日	-		
その他		22	『南沢ラベンダーまつり』	南沢ラベンダーまつり実行委員会(南沢地区まちづくり協議会、南沢地区町内会連合会、東海大学他)	平成25年7月20日、21日	-	南沢地区は日本におけるラベンダー栽培発祥の地の一つとして、沿道及び東海大学札幌キャンパスの畑一面にラベンダーを植えている。 ラベンダーまつりは、今年で7回目の開催。地域と大学が連携し、学生による吹奏楽の演奏や地域特産品の販売などを行っている。ルートメンバーが連携した形でのイベントであり、ルート運営代表者会議は「後援」として実施されたのは今年度からとなる。 地域住民がより地域に愛着をもてること、また、眺望の優れた場所の整備及び活用として、活動方針を十分満たしている取り組みと考えられることから、今後も継続的に実施していきたい。		
		23	小金湯さくらの森を活かし、地域活性化を目指すフォーラム	(一社)小金湯地域活性ネットワーク、NPOひまわりの種の会、まちネット	平成25年12月1日	-	南区の農業試験場跡地の活用とした「さくらの森」の整備をすすめるため、地域・関係者との連携・協働が促進されることを目的としたフォーラム。当ルート福士代表がパネリストとして参加。		
		24	地域の景観資源の発掘とPR	ルート運営代表者会議	継続検討		そば畑や桜の森など、まだまだ知られていないルート内の美しい景観資源の活用や保全に努め、ルートの魅力としてPRする手法などを検討した(部会等の中で随時検討。予定)。		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	2014/3/24
-------------------------------	--	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
地域	<p><テーマ> 「自然・歴史・文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり」 <活動方針> ・環境の保全と活用 ・おいしく安心な食材のPR、地産地消の推進 ・交流と賑わいの創出 ・多様な媒体を活用した情報の発信 ・歴史、文化の紹介 ・健康で安心して暮らせるまちづくり</p>	モニターツアーの実施(地域)	25	-	-	-	-		これまでの事業効果を検討した結果、一定の役割を終えたと判断されたため、2年前に事業終了とした。
		地域一斉ゴミ拾い運動	26	『ラブアース・クリーンアップin北海道2013』への参加	ルート運営代表者会議 (各団体名で参加)	平成25年4月～11月	-		各地域・団体で清掃活動を行ってきただが、ルート全体の取り組みとして「ラブアース・クリーンアップin北海道2013」に参加。主催者側のサイトで参加団体の活動状況を発信しているため、ルート活動のPR効果もある。良好な沿道景観形成を目指す取り組みにも繋がるため、今後も継続的に実施を行っていくとともに、ルートとしてもブログなどによるPRを行っていききたいと考える。
		札幌南オータムフェスティバル	27	商店街との連携による取り組み『札幌南オータムフェスティバル』	ルート運営代表者会議、札幌市南区商店街連絡協議会、札幌商工会議所豊平支所 他	平成25年9月15日、16日			ルートの活動団体があつまってルートPRを行うイベント。商店街との連携で、地域特産品などの販売や、今年作成したルートロゴの法被・幟などでPR効果もあったと感じる。
		自然散策、森林浴	28	自然散策、森林浴	定山溪観光協会ほか、ルート内各団体	随時	-		ルート内各団体により実施。ルートとしての統一的なPRや団体間の連携が今後の課題。
		農業体験、果物狩り	29	農業体験、果物狩り	八剣山発見隊ほか	随時	-		
		各種イベントでの農産物販売(朝市の開催ほか)	『もりの中間のこまおか朝市』	30	札幌市保養センター駒岡	平成25年5月～11月までの毎月第2・4日曜日開催	開催時により変動あり		新鮮な地元野菜や特産品の販売など、各地域(活動団体)で実施。生産者と直接会話しながらの購入となるため、リピーターが多く、また、それぞれの地域において、地域の特徴・旬の素材などに合わせて工夫を凝らした内容で実施している。どの会場においても参加者が多いことから、継続した活動と連携を目指し、今後も積極的に実施していきたい。活動方針の「交流と賑わいの創出」の面からみても十分に満たしている事業であると考え。
			『ショッピング石山朝市』	31	石山商店街振興組合	平成25年4月～11月までの毎月第1・3土曜日開催	開催時により変動あり		
			『もいわした朝市』	32	藻岩下地区連合会ほか	平成25年5月15日、6月5日、7月3日、9月4日、10月2日、11月6日※全て日曜開催	開催時により変動あり		
			『森の朝市(フォレストマルシェ)』	33	朝市クラブ	平成25年7月～9月の第1・3の日曜	開催時により変動あり		
		その他	34	八剣山周辺のレンタサイクル事業	ぶどうの会 他	平成25年6月～10月	-		地域の魅力を肌で感じ、体験してもらいたいと考え、八剣山周辺の果樹園や森林、歴史的建造物、お立ち寄り所などとあわせ、手軽に楽しめる自転車コースの紹介などを載せた「八剣山ちゃりまっぷ」を、ぶどうの会・八剣山ワイナリーで作成し、レンタサイクル事業を昨年度より展開している。実際には利用者は少なく、坂道の多いこの地域特性も含め、周知方法なども検討が必要である。
地域特産物を活かした賑わいづくり	35	地域特産物を活かした賑わいづくり	八剣山発見隊ほかルート内各団体	継続検討	-		地域でとれる野菜や果物を活用して、地産地消の推進と果物狩りやフォーラムの開催など、地域の賑わいづくりを検討し実施を目指す。		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート		報告者:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫					2014/3/24		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
観光 空間	<テーマ> 「札幌の奥の深さを感じる滞在型の観光空間づくり」 <活動方針> ・体験メニューの拡充(自然体験、健康、学習) ・集客施設の回遊性向上 ・特産品の開発、PR	モニターツアーの実施(観光)	36	-	-	-	-		これまでの事業効果を検討した結果、一定の役割を終えたと判断されたため、2年前に事業終了とした。
		スタンプラリーの実施	37	『札幌シーニックバイウェイ スタンプラリー2013』	ルート運営代表者会議	平成25年4月28日～10月31日	-		5年継続しているスタンプラリー。若干、マンネリ化も考えられるが、パンフレットとして持ち歩いているひとも多く、需要が多い。ことしは、チカポイント等でも多く配布した。南区の魅力を知らせてもらおうきっかけとなればよい。
		地域特産品のブランド化	38	『定山溪温泉たまねぎすうぶ』	(社)定山溪観光協会	通年	-		いずれも売り上げ好調で、認知度の向上がうかがえる。今後も、地域連携を図りながら地域のブランドとしての新たな地域特産品の開発を目指した企画検討をすすめていきたい。
			39	『温たま塩ぶりん』	(社)定山溪観光協会	平成25年10月 ※土日限定販売	-		
		森林教室	40	森林教室	ルート内各団体	夏期間	-		定山溪の小中学生などを対象とした森林教室などを実施した。
		外国人観光客への対応	41	-	-	-	-		
		『定山溪かっぱウォーク』の開催	42	『定山溪かっぱウォーク』の開催	(社)定山溪観光協会	平成25年9月29日	-		回遊性向上及び季節ごとに変化のある地域資源の魅力を発信することを目的に、活動団体の連携による期間限定のかっぱバスの運行、区内を歩くウォーキングイベントを実施した。
			43	『定山溪新緑かっぱバス』	じょうてつバス、(社)定山溪観光協会	平成25年5月17日～6/23日 毎週金・土・日のみ運行	-		「紅葉ゴンドラ」については、今年で4年目となり、年々増加していることから、秋の観光名所となりつつある。
			44	札幌国際スキー場 『紅葉ゴンドラ』	(株)札幌リゾート開発公社	平成25年9月28日～10月14日	-		どの企画においても、ルート内の他施設・資源を繋げ、回遊してもらおう工夫をし、地域に人が入ってくる仕組みを模索していくことが重要であると考え、これらの取り組みを活かし、今後も継続的に実施したい。

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway Moiwa sanroku Jozankei Route

活動名：札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2014

【概要】 当ルートがシーニックバイウェイ北海道のルートとして認定された年から始めて3回目の制作となる。ルートの魅力を広くPRするとともに、シーニックバイウェイの活動を周知することを目的として、ルートの取り組み（沿道景観保全等）、集客施設、景観スポットなど、ルート内の魅力的なスポットの写真を使用したカレンダーを作成・配布した。制作においては、ルートメンバーによるカレンダー作製実行委員会を設置し、ルートイベント情報なども取り入れた。デザインは札幌市立大学学生によるもの。

【日時】 平成25年12月上旬～平成26年1月末頃まで

【場所】 ルート内各地、関係各機関 他

【作成・発行】 札幌シーニックバイウェイ
藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議

【発行部数】 15,000部



札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway Moiwa sanroku Jozankei Route

活動名：雪あかりイベントのPR

【概要】 毎年、南区各地域で12月～2月の間に実施される雪灯りのイベント。手間はかかるが形の成形が面白くできるアイスキャンドルは、年々工夫され、新しく生み出された新たな灯りが、訪れる人を魅了する。実施時期はそれぞれの会場によって異なるが、カメラを持ち会場を巡る人もみられる。会場での温かい飲み物などのおもてなしもうれしい。若干、高齢化している地域であるため、今後の活動の担い手を育てていく必要があることも忘れてはいけない。

また、この雪灯りの取り組みを広くPRするため、南区の魅力を知り、訪れてよかったと思ってもらえるような広報の手法を考え、地下鉄全線及び札幌近郊のJRの中吊り広告にてPRを行った。デザインはルートの団体である札幌市立大学の学生による楽しげな雰囲気のあるものとなった。

【日時】 平成25年12月上旬～平成26年2月末頃まで
【場所】 ルート内各地



札幌シーニックバイウェイ
 藻岩山麓・定山溪ルート

雪あかりイベント

石山スノーファンタジー
 12月9日(月)～2月28日(木)
 真駒内地区「ふれあい雪あかり」
 1月23日(水)～25日(土)
 藻岩地区アイスキャンドル
 1月26日(土)、26日(日)
 南沢地区冬まつり
 1月26日(土)、26日(日)
 定山溪温泉雪灯籠 2014
 2月5日(水)～11日(水)

スノーフェスティバル in 濠川
 2月8日(土)、9日(日)
 藻岩下やさい雪あかり
 2月8日(土)、9日(日)
 滝野スノーフェスティバル
 2月8日(土)、9日(日)
 藻岩の森地区雪あかりの祭典
 1月25日(土)、2月1日(土)、
 2日(日)、11日(水)

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway Moiwa sanroku Jozankei Route

活動名：ルートホームページの改修・更新

【概要】 約2年間かけて、ルートのホームページの開設にむけて準備をしてきた。以前までのサイトもあったが、魅せたい情報（イベントや日々の活動など）が見えにくかったため、新たにデザインを検討した。デザインにあたっては、ルート団体である東海大学に依頼し、作成をすすめた。今年同時にルートのロゴマーク・カラーもきまり、双方でのPR効果を計るため、TOP画面もルートが即イメージできるものとした。

活動団体が日々更新しているブログもそのまま継続し、リンクをはりつつ、情報発信の充実を図っている。

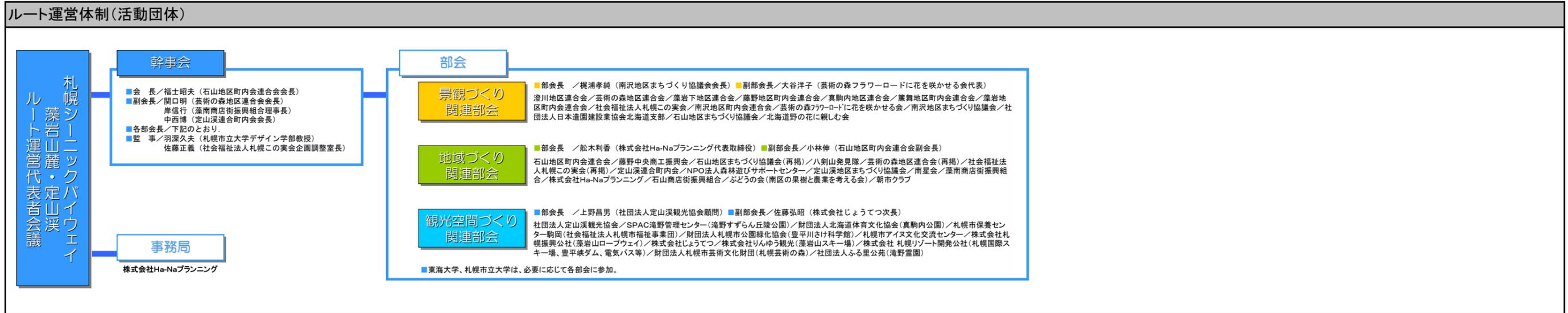
【URL】 <http://sapporo-scenic.com/>

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	報告年月: 2014/3/24
--------------------------------	---	-----------------

活動団体

澄川地区連合会／芸術の森地区連合会／藻岩下地区連合会／藤野地区町内会連合会／真駒内地区連合会／簾舞地区町内会連合会／藻岩地区町内会連合会／社会福祉法人札幌この実会／南沢地区町内会連合会／芸術の森フワワードに花を咲かせる会／南沢地区まちづくり協議会／社団法人日本造園建設業協会北海道支部／石山地区まちづくり協議会／北海道野の花に親しむ会／石山地区町内会連合会／藤野中央商工振興会／石山地区まちづくり協議会(再掲)／八剣山発見隊／芸術の森地区連合会(再掲)／社会福祉法人札幌この実会(再掲)／定山溪連合町内会／NPO法人森林遊びサポートセンター／定山溪地区まちづくり協議会／南星会／藻南商店街振興組合／株式会社Ha-Naプランニング／石山商店街振興組合／ぶどうの会(南区の果樹と農業を考える会)／朝市クラブ／社団法人定山溪観光協会／SPAC滝野管理センター(滝野すずらん丘陵公園)／財団法人北海道体育文化協会(真駒内公園)／札幌市保養センター駒岡(社会福祉法人札幌市福祉事業団)／財団法人札幌市公園緑化協会(豊平川さけ科学館)／札幌市アイヌ文化交流センター／株式会社札幌振興公社(藻岩山ロープウェイ)／株式会社じょうてつ／株式会社りんゆう観光(藻岩山スキー場)／株式会社 札幌リゾート開発公社(札幌国際スキー場、豊平峡ダム、電気バス等)／財団法人札幌市芸術文化財団(札幌芸術の森)／社団法人ふる里公苑(滝野霊園) (計: 40団体)



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議(全体会議)		● 6/28											
幹事会		● 5/22											
各関連部会			第1回 ● 6/17 景観 ● 6/26 地域 ● 6/27 観光				第2回 ● 10/23 景観 ● 10/29 地域 ● 10/22 観光				第3回 ● 2/27 景観 ● 2/26 地域 ● 2/25 観光		

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者: 札幌開発建設部	報告年月: 2014/3/24
--------------------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議								● 11/19 ※支笏洞爺ニセコ ルートと合同開催					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告年月: 2012/3/31
--------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
共通	<p><テーマ> 「住んでよし訪れてよしの都市空間」 <活動方針> 地域から積極的に情報発信。日本全国。世界から訪れる全ての人々を温かくおもてなしする。</p>	雪あかりイベントPR(チラシ)等の配布協力	平成25年12月～	札幌市、札幌開発建設部	ルート内公共施設、地下歩行空間「シェルフバイウェイ」にて配布。関連する各イベント毎のチラシ等も配布。市内各地で配布。	<p>本年度は、通年を通して地下鉄真駒内駅および地下歩行空間で情報発信支援ができたため、ルート情報の周知徹底できたように考える。 情報発信媒体として、ネット配信の場合はその場に居なくても情報をいつでも入手することができるが、今後の課題としては、高齢者等、ネットをあまり使用しない人達への情報提供のあり方について、検討を進めたい。また、今回の災害対応情報提供のように、情報発信のタイミングなども重要であるように考える。</p>	1
		ルートホームページのリニューアル、イベント情報投稿フォームの開設、ルートブログの開設と情報発信における企画運営、PR協力	通年	札幌市	シーニックの取り組みについての周知徹底、地域の顔のみえる情報提供を行うため、「イベント情報」の投稿フォームを作成。各活動団体が直接更新できる新たにブログも開設。まずは札幌の人に知ってもらうため、札幌の人がよく閲覧するブログサイト(100マイル)を選択。アクセス率も多く効果的な周知方法であるため今後も積極的に情報発信に協力していきたい。		2
		南札幌エリア フリーペーパー「SAN」の情報発信の協力	平成25年6月	札幌市、札幌開発建設部	「SAN」は、東海大学の学生が取材・作成する情報誌でPRを協力。シーニック関係も含め地域情報が満載であり、今年度発行した第5号はネット配信となった。 チカホのシェルフバイウェイにて配布した。(札建)		3
		「札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2013」の作成・配布協力	平成25年10月～平成26年1月	札幌市、札幌開発建設部	ルート内の魅力的な景観や集客施設を集めたカレンダーを15,000部作成。札幌市広報誌でのPR、公共施設での配布協力を行った。		4
		ルート「ロゴマーク」の作成協力	通年	札幌市、札幌開発建設部	ルートロゴマークを示してあるパンフレットやポスターについては、シェルフバイウェイやチカホイベントなど幅広く周知の協力を行った。		5
		地下歩行空間「シェルフ・バイウェイ」を活用したルートの活動PR協力	通年	札幌開発建設部	スタンプラリーや雪あかりのちらし配布・ポスター掲示のほか、各活動団体の取り組みをPRした。		6
		地下鉄真駒内駅へのシーニック情報専用掲示板を活用したPR	通年	札幌市	札幌市(南区役所)が地下鉄真駒内駅に設置した札幌シーニック専用情報掲示板を活用してPRを行った。		7
		地下鉄及びJR車内中吊り広告掲示	通年	札幌市	1月中旬の約1週間、中吊り広告を展開。札幌市交通局との調整を行った。		8

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	<p><テーマ> 「札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる景観づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・眺望の優れた場所の整備と活用 ・広域的な花街道づくりとPR ・広域的な幻想空間の創出とPR 	各地区による沿道花壇の整備	随時 (春～夏頃)	札幌道路事務所、札幌市	植栽花苗の提供(国道)、活動PR	<p>札幌駅前通地下歩行空間でのポスター掲示やちらし配布、HPでの紹介、行政連絡会議関係機関への開催周知、シーニックバイウェイ支援センターへの情報提供及びHPでの広報依頼など活動PR。キャンドル点灯等の手伝いやイベント参加。</p> <p>札幌開発建設部としては、昨年度開通した地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。</p> <p>・また、行政連絡会議の発足を機に、関係行政機関にヒアリングを実施し、活動内容と関係機関との連携可能性を探り、情報共有を図り、今年度は雪あかりの取組においてPR支援にむけて調整を行った。他、今後の連携にむけて随時情報共有を行っている。</p> <p>・これまでもルート支援の中心的役割を担ってきた札幌市南区役所では、HPや広報誌、新聞等報道機関の活用、カレンダーやバッジなどPRグッズの開発、PRイベントの実施に協力し、活動団体と連携を密にしながら地域に根ざした情報発信を積極的に行った。地域内を中心にルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。地域活動への支援体制としては雪あかりの取組をはじめとする人的協力(活動参加・連携協力)も継続実施している。他、地下鉄真駒内駅でのルートの情報発信の支援も行っている。</p> <p>・今後も、継続して活動が出来るよう、活動団体との情報交換を図り、行政連絡会議と情報共有しながら、地域内外の人々に活動に対する関心が高まるよう認知度向上にむけて様々な機会を活かしてPR支援すると同時に、活動団体の自主性を尊重しながら、企画や調整、参加、相談などの直接的な支援も継続して行っていきたい。</p>	13
		『石山スノーファンタジー』PR・参加協力(雪あかりイベント)	平成25年12月～2月上旬	札幌市、札幌開発建設部			14
		『真駒内地区ふれあい雪あかり』PR・参加協力(雪あかりイベント)					15
		『藻岩地区アイスキャンドル』PR・参加協力(雪あかりイベント)					16
		『南沢地区冬まつり』PR(雪あかりイベント)					17
		『スノーフェスティバルin澄川』PR・参加協力(雪あかりイベント)					18
		『定山溪温泉雪灯路2013』PR・参加協力(雪あかりイベント)					19
		『藻岩下やさしい雪あかり』PR・参加協力(雪あかりイベント)					20
		『芸術の森地区「雪あかりの祭典」』PR・参加協力(雪あかりイベント)					21
『南沢ラベンダーまつり』PR	平成25年7月上旬	札幌市、札幌開発建設部	活動PR支援	22			
地域	<p><テーマ> 「自然・歴史・文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全と活用 ・おいしく安心な食材のPR、地産地消の推進 ・交流と賑わいの創出 ・多様な媒体を活用した情報の発信 ・歴史、文化の紹介 ・健康で安心して暮らせるまちづくり 	『ラブアース・クリーンアップin北海道2012』参加における活動PR	平成25年4月～11月	札幌市	活動PR支援(HPで情報発信)	26	
		商店街との連携による取り組み『札幌南オータムフェスティバル』PR	平成25年9月上旬～	札幌市、滝野すずらん丘陵公園事務所	イベント開催にあたり、ちらしの配布等PR、場所の提供、備品の貸し出し等の協力・支援。	27	
		『もりの仲間のこまおか朝市』PR	春～秋期間 (5～11月上旬頃)	札幌市	活動PR支援	30	
		『ショップーズ石山朝市』PR				31	
		『もいわした朝市』PR				32	
		『森の朝市』PR				33	
観光空間	<p><テーマ> 「札幌の奥の深さを感じる滞在型の観光空間づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューの拡充(自然体験、健康、学習) ・集客施設の回遊性向上 ・特産品の開発、PR 	『札幌シーニックバイウェイ スタンプラリー2013』チラシの配布協力	平成25年4月末～10月末	札幌市、札幌開発建設部	区内各所の他、地下歩行空間や道の駅等にてチラシを配布。	37	
		『定山溪温泉たまねぎすうぶ』のPR	通年	札幌市	ルートの特産品として、PR支援	38	
		『温たま塩ぷりん』PR	平成25年10月～	札幌市	ルートの特産品として、PR支援	38	
		『定山溪かっぱウォーク』PR	平成25年9月2日	札幌市	活動PR支援	42	
		『定山溪紅葉かっぱバス』PR	平成25年10月1日～21日	札幌市	活動PR支援	43	
		札幌国際スキー場 『紅葉ゴンドラ』PR	平成25年9月15日～10月14日	札幌市	活動PR支援	44	

5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表	報告年月: 2013/1/17
--------------------------------	--	-----------------

平成23年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考

ルート名称: ●●ルート	報告者: 札幌開発建設部	報告年月: 2012/3/31
--------------	--------------	-----------------

平成23年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考